努力事項解説　その2　（小学校特別活動）

十分展開するためにどうにすればいいか、具体的に考えてみましょう

児童生徒の自発的、自治的な活動を通して、望ましい人間関係を築く態度を育成する観点から、話し合い活動を充実させ、学級活動の活動内容（1）「学級や学校の生活づくり」の内容を十分展開できるようにしましょう。

前回は、なぜ、活動内容（1）「学級や学校の生活づくり」の内容を十分展開することが求められているのか考えてみました。今回から、十分展開するには具体的にどのようにしていけばいいか考えていきます。まず、小学校の場合で考えてみましょう。

活動内容（1）「学級や学校の生活づくり」では、次のような点で課題があると言われています。この課題を解決していくことで、活動内容（1）「学級や学校の生活づくり」を十分展開することができるようになっていきます。

1　学級活動の活動内容（1）と（2）の違いを理解して指導に当たっていますか?

2　自発的、自治的活動の意義について理解して指導に当たっていますか?

3　学級活動の1時間ごとの指導計画はありますか?

4　教室に学級活動コーナーが設けられていますか?

5　当番活動と係活動の違いを踏まえて指導していますか?

6　議題を子どもたちが決めていますか?

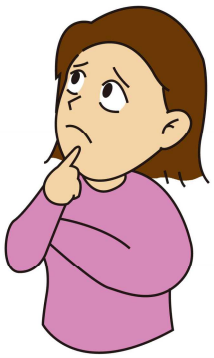
7　議題ポスト等に常にいくつかの議題案が入っていますか?

8　司会や記録などの役割を輪番制で行っていますか?

9　学級活動（1）に充てる時間が（2）より多いですか?

10　学級活動の時間を時間割の月曜1校時や金曜5校時においていませんか?

11　計画委員会を設けていますか?



次回は、

1　「学級活動の活動内容（1）と（2）の違いを理解して指導に当たっていますか?」と

2　「自発的、自治的活動の意義について理解して指導に当たっていますか?」

の2つについて考えていきます。

6月14日（金）ごろアップの予定です。